



平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 株式会社 帝国ホテル
コード番号 9708 URL <http://www.imperialhotel.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林哲也
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 宮新朋明
四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日 配当支払開始予定日 平成23年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3504-1111

平成23年12月5日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,318	△12.8	95	△86.9	172	△79.0	△609	—
23年3月期第2四半期	24,454	5.2	724	518.2	819	309.9	259	102.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △613百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 199百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	△20.53	—
23年3月期第2四半期	8.76	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,881		43,709		43,709	71.8
23年3月期	63,064		44,737		44,737	70.9

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 43,709百万円 23年3月期 44,737百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	円銭	
23年3月期	—	11.00	—	14.00	円銭	25.00
24年3月期	—	11.00	—	—	円銭	—
24年3月期(予想)	—	—	—	12.00	円銭	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
・平成23年3月期期末配当の内訳 普通配当 12円00銭 記念配当 2円00銭

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	47,000	△7.7	1,200	△32.8	1,400	△30.8	100	△93.9	3.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	29,700,000 株	23年3月期	29,700,000 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

24年3月期2Q	37,862 株	23年3月期	37,862 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	29,662,138 株	23年3月期2Q	29,662,193 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会社上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、3月に発生した東日本大震災の影響による企業の生産活動の停滞、個人消費の低迷、雇用情勢の悪化など大変厳しい状況で推移しました。

ホテル業界におきましても、原子力災害による訪日外国人の激減に伴う客室稼働率の大幅な低下や企業の自粛による宴会需要の低迷など極めて深刻な経営環境となりました。

このような厳しい環境のもと、当社グループといたしましては、120年の歴史と伝統で培った経営資源を最大限に活用するとともに、グループの総力を結集し、集客と売上げの回復に全力を注いでまいりました。オペラとディナーを組み合わせた「ジ・インペリアル オペラ」、京都祇園の舞妓と東京新橋の芸妓が一堂に会す「東西おどりの夕べ」など伝統的、文化的イベントや東京・大阪ともに恒例となった「インペリアル・ジャズ 2011」は本年も好評を博しました。また、3月に開業15周年を迎えた「帝国ホテル大阪」において、各種記念商品の企画販売を積極的に展開し、さらに、ハワイの名門ホテル『ハレクラニ』との共同企画の開催や顧客会員向けの販売促進を強力に推進するなど売上げの増加と顧客基盤の更なる拡充に向け邁進してまいりました。

一方経費面におきましては、全社的なコスト削減を最重要課題と認識し、諸経費の抜本的な見直しと最小限の経費執行を徹底し、グループ一丸となって収益の確保に全力を注いでまいりました。

しかしながら、震災とその後の原子力災害による影響はあまりに大きく、当第2四半期連結累計期間における当社グループの売上高は前年同期比12.8%減の21,318百万円となり、営業利益は前年同期比86.9%減の95百万円、経常利益は前年同期比79.0%減の172百万円となりました。退職金制度の変更に伴う、特別損失1,193百万円を計上したことにより、四半期純損失は609百万円(前年同期は四半期純利益259百万円)となりました。

なお、セグメントの業績におきましては、ホテル事業の売上高は前年同期比13.8%減の19,425百万円、営業損失は155百万円(前年同期は営業利益504万円)となり、不動産賃貸事業の売上高は前年同期比1.2%減の1,903百万円、営業利益は前年同期比0.9%増の1,041百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

総資産は、前連結会計年度末と比べて3.5%減少し、60,881百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.4%減少し26,091百万円となりました。これは退職金制度の改定に伴う年金制度への拠出などにより現金及び預金が減少したことなどによるものであります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて3.5%減少し34,790百万円となりました。これは減価償却により有形固定資産が減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて17.5%減少し5,388百万円となりました。これは未払金や賞与引当金の減少などによるものであります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し11,784百万円となりました。これは、長期預り金の減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、2.3%減少し43,709百万円となりました。これは四半期純損失の計上や配当金の支払などにより減少したものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、サプライチェーンの復旧に伴う企業の生産活動の回復や個人消費の改善など国内景気は持ち直す傾向が継続するものと期待されますが、欧米を中心とした海外経済の先行きへの不透明感は強く、依然として予断を許さない状況が続くと予想されます。

ホテル業界におきましても、原子力災害により、特に観光を目的とした訪日外国人の大幅な減少が長期化することが懸念され、競争が一段と激化するなど非常に厳しい経営環境が継続すると思わ

れます。

このような環境のもと、当社グループといたしましては、40周年を迎えるフードストア『ガルガンチュワ』の記念商品の開発、クリスマス、お正月の各種イベントに新たな趣向を取り入れるなど、引き続き高品質な商品の企画、販売に努めてまいります。また、当社のブランド力と商品力を最大限に活用するとともに、顧客会員向け諸施策を強力に推進し、グループ一丸となって集客と売上げの回復に全力を注いでまいります。

一方、経費面におきましては、引き続き諸経費の削減はもとより、経費執行に十分留意するとともに業務の効率化などを徹底し、収益の確保を目指しなお一層の経営努力を続けてまいります。

平成23年9月22日に発表しました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,194	18,935
売掛金	2,028	2,889
有価証券	999	1,997
貯蔵品	444	429
繰延税金資産	706	1,127
その他	646	724
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	27,006	26,091
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	19,872	18,666
その他(純額)	4,863	4,783
有形固定資産合計	24,736	23,449
無形固定資産	1,312	1,290
投資その他の資産	10,009	10,050
固定資産合計	36,058	34,790
資産合計	63,064	60,881
負債の部		
流動負債		
買掛金	935	1,099
未払法人税等	515	24
未払費用	1,672	1,447
前受金	937	1,184
賞与引当金	881	650
役員賞与引当金	26	10
その他	1,559	973
流動負債合計	6,528	5,388
固定負債		
退職給付引当金	6,547	6,622
資産除去債務	892	900
長期預り金	4,075	3,986
その他	283	274
固定負債合計	11,799	11,784
負債合計	18,327	17,172

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,485	1,485
資本剰余金	1,378	1,378
利益剰余金	41,807	40,782
自己株式	△89	△89
株主資本合計	44,581	43,557
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156	151
その他の包括利益累計額合計	156	151
純資産合計	44,737	43,709
負債純資産合計	63,064	60,881

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	24,454	21,318
材料費	5,295	4,613
販売費及び一般管理費	18,434	16,609
営業利益	724	95
営業外収益		
受取利息	15	11
受取配当金	9	7
持分法による投資利益	26	12
その他	43	45
営業外収益合計	95	76
経常利益	819	172
特別利益		
投資有価証券売却益	—	3
特別利益合計	—	3
特別損失		
固定資産除却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	364	—
退職給付制度改定損	—	1,193
特別損失合計	368	1,193
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	451	△1,018
法人税、住民税及び事業税	39	3
法人税等調整額	152	△413
法人税等合計	191	△409
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	259	△609
四半期純利益又は四半期純損失(△)	259	△609

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	259	△609
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△59	△3
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
その他の包括利益合計	△59	△4
四半期包括利益	199	△613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199	△613
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	451	△1,018
減価償却費	1,889	1,659
貸倒引当金の増減額(△は減少)	7	△1
賞与引当金の増減額(△は減少)	△281	△231
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	24	△16
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△185	74
有形固定資産除却損	3	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	364	—
受取利息及び受取配当金	△25	△19
持分法による投資損益(△は益)	△26	△12
売上債権の増減額(△は増加)	136	△860
たな卸資産の増減額(△は増加)	△39	15
仕入債務の増減額(△は減少)	△100	163
長期未払金の増減額(△は減少)	△3	△5
長期預り金の増減額(△は減少)	51	△88
差入保証金の増減額(△は増加)	3	△0
その他	42	△339
小計	2,312	△680
利息及び配当金の受取額	57	76
法人税等の支払額	△34	△556
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,335	△1,160
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△635	△510
その他	△138	△174
投資活動によるキャッシュ・フロー	△774	△685
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△355	△414
その他	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△355	△414
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,205	△2,260
現金及び現金同等物の期首残高	15,096	23,194
現金及び現金同等物の四半期末残高	16,301	20,933

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	22,540	1,913	24,454	—	24,454
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	13	13	△13	—
計	22,540	1,926	24,467	△13	24,454
セグメント利益	504	1,032	1,536	△812	724

(注) 1 セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	ホテル 事業	不動産 賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,425	1,892	21,318	—	21,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10	10	△10	—
計	19,425	1,903	21,328	△10	21,318
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△155	1,041	885	△790	95

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、各報告セグメントに配賦していない全社費用
であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行って
おります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。